

ビジネス情報科 1年A組

教科	商業	科目(単位)	ソフトウェア活用 (2単位)
使用教科書	ビジネス情報 新訂版 (実教出版)		
授業形態	通常授業 ・ 分割授業 ・ TT		

1 科目の目標

<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
--

2 科目の内容と授業の進め方

<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングの技能を高め、ビジネスの諸活動においてアプリケーションソフトを活用する業務を、短時間で正確に処理する能力を身に付けます。 ・商業デザインが企業のマーケティング中で果たしている役割を調査し、デザイン表現アプリケーションソフトを利用し作成します。 ・目標とする検定試験は、全商情報処理検定 ビジネス情報部門 2級(9月) 1級(1月)です。
--

3 学習の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業を大切にすることはもちろんですが、その授業を確実に理解するためにも発言や質問を積極的にすることが大切です。 ・練習問題を繰り返し行い、実習問題、過去検定問題などを活用し、いろいろな問題解決方法を学びます。技術や技能だけでなく、発想力や創造力も必要です。また、仕事の効率、能率を考え、正確性に加え、短時間で処理する能力を身に付けます。 ・コンピュータに関する知識や用語を理解するためには、積み重ねた学習が必要です。何度も問題を繰り返すなど、予習と復習が必要です。

4 課題・補習について

<ul style="list-style-type: none"> ・随時、問題集の点検をします。 ・検定試験の前には、希望に応じて補習を実施します。
--

5 資格・検定試験

<ul style="list-style-type: none"> ・全商情報処理検定 ビジネス情報部門 2級・1級
--

6 観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>企業における情報システムとプログラミングの概要について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</p>	<p>企業における情報システムとプログラミングの意義と課題について、企業活動の改善と関連付けて見いだそうとしている。</p>	<p>情報システムとプログラミングについて自ら学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>

ビジネス情報科 1年A組

教 科	商 業	科目(単位)	ソフトウェア活用 (2単位)
-----	-----	--------	----------------

6 年間の学習計画

月	単 元 名	学 習 の 内 容	評価方法 (課題等)
4 5	第1章 ビジネスと情報	1 情報化社会とビジネス 2 ネットワークとビジネス	行動観察 提出物 小テスト 前期中間考査
6 7 8 9	第2章 情報通信ネットワークの活用	1 ネットワークの基礎 2 ネットワークの構築と管理 3 サーバ管理 4 セキュリティ管理	行動観察 提出物 小テスト 前期期末考査
9 10 11 12	第3章 表計算ソフトウェアの活用	全商情報処理検定 ビジネス情報部門 2級 1 集計処理 2 オペレーションズリサーチの基礎 3 ビジネス計算 4 手続きの自動化	行動観察 提出物 小テスト 後期中間考査
1 2 3	第4章 データベースソフトウェアの活用	全商情報処理検定 ビジネス情報部門 1級 1 ビジネス情報とデータベース 2 データベースの利用 3 SQLの操作	行動観察 提出物 小テスト 学年末考査